



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

平成24年6月19日(火)

第2590回 例会

(本年度第43回)

例会場 東京第一ホテル鶴岡
(鶴岡市錦町 2-10)

例会日 毎週火曜日
(12:30~13:30)

2011-2012年度 国際ロータリー会長 … カルヤン・バネルジー

クラブホームページアドレス◎<http://www.tsuruokarc.org/>

メールアドレス◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(6/26)のメインプログラム

最終例会

次週(7/3)のメインプログラム

2012-13年度 第1回例会
今年度の活動方針(1)

会長挨拶

青柳孝治

今年は台風の当たり年でしょうか、5号まで発生しております。4号が四国から関西に上陸するようです。8年前に似た台風がやってきました。明日の早朝にかけて、山形県を通過する予報になっていました。

夕方から風や雨が強まりそうです。時速50kmくらいのスピードで来ています。進行方向に向かって、右側を通過するか左側を通過するかによって、風か雨かが違ってきます。今日は台風の通過に備えましょう。近年はあまり、台風等の被害も少なく住みよいと思っておりましたが、備えを万全にして十分注意して頂きたいと思います。

①社会奉仕委員会事業

さくら植樹収支報告「地区補助金」
(2011.7/1~2012.6/30)

収入の部		支出の部	
地区補助金	150,000円	さくら植栽工事	300,000円
奉仕プロジェクト基金より	199,000円	写真記録	19,600円
		紅白饅頭2個入(820×35)	29,400円
合 計	349,000円	合 計	349,000円

②6/26は最終例会で夜例会となります。参加締切が本日です。新入会員歓迎会も行います。

③退会届が提出されていた加藤恒介会員の事については6/5の理事会で承認された旨、例会で皆様にお知らせした通りです。

加藤恒介会員は平成2年3月に入会され、平成10年

には第40代会長を務められました。クラブ在籍22年間ですが、その間多くの役職を勤められると共に、ロータリー活動に誠心誠意で尽力いただきましたことに深甚なる敬意を表し、感謝を申し上げるものがあります。人でありますから、身体的好・不調は何とも致し方ありません。大変残念では有りますが、例会への出席は本日が最後とお聞きしました。

加藤さんにおかれましては、今度ともお身体を大切に機会がありましたら、是非、ご夫婦で顔を見せて頂きたいと思います。本日は、ご挨拶を頂く事になっております。よろしくお願い致します。ありがとうございました。

幹事報告

木村 節

○鶴岡ローターアクト

2012-2013年度第一例会のご案内

日 時:7月2日(月)19時~

会 場:東京第一ホテル鶴岡

内 容:11-12年度活動報告

12-13年度計画・予算について

登録料:1,500円 締切:6/29

○アンケートへの回答のお願い

2012~2013年度の地区補助金について

○ロータリー財団ゾーン会計の報告

2013~2014の新地区補助金

■退会のあいさつ 加藤恒介君

平成2年に入会しました。22年間お世話になりました。大変たのしい22年間だったと思います。昭和ひとけた生まれですので、この通り頑固です。皆様の気

出席報告

会 員 数	40名
出 席	20名
出 席 率	52.63%
前々回確定出席率	78.95%

■RI会長 カルヤン・バネルジー ■地区ガバナー 細谷伸夫

■会長/青柳孝治 ■副会長/嶺岸禮三 ■幹事/木村 節 ■会長エレクト/阿部純次
■会報委員会/阿蘇司朗・阿部純次・嶺岸禮三

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376

に障ることを言ったこともあると思います。退会の理由は体調不良です。去年当たりから体力的に落ち、腎機能の低下と腰痛などで週に3日は通院しています。椅子に座るのも1時間も座ってられないので、例会にも出られません。しばらくは体力回復に努めたいと思います。

ますます会が繁栄することを願っています。ありがとうございました。

東日本大震災での現地活動を語る

自衛隊鶴岡出張所 副所長 土田 信明 氏



1.地震・津波の被害状況

平成23年3月11日(金)午後2時46分に三陸沖を震源地とするマグニチュード9.0最大震度7を記録し、約20分後に500kmにわたる巨大津波が押し寄せ壊滅的な被害をもたらした。

- ①宮城県岩沼市(仙台空港付近)では、午後3時56分に地震発災後1時間10分後に津波が到達している。
- ②日本海側では、昭和58年の秋田沖日本海中部地震で17分後、平成5年の北海道南西沖地震(奥尻島)では6分後に津波が到達している。
- ③女川町では、庁舎が全壊し機能が完全に麻痺した。
- ④東松島市野蒜地区では、保育園に孫や子供を迎えに行ったおじいさんおばあさんやお母さんが車に乗ったまま流されてしまった。
- ⑤当日は、太平洋側の3月にしては珍しく降雪が記録されたが、津波に追い討ちをかけるような寒さだった。(被災者はほとんど濡れていた)

2.人命救助・被災者救出

- ①「72時間の壁(デッドライン)」災害に遭遇した人が生存している可能性が72時間を過ぎると急激に低くなる。
- ②自衛隊は、デッドラインの間は不眠不休で救助活動にあたった。
- ③水が引いてからは、1件1件しらみつぶしで搜索、道路には瓦礫がいっぱいで玄関から入れない。
- ④発見されてた生存者は歩く事もできず、車両の運行できる場所まで隊員が背負って救出した。
- ⑤食料・水をほしがる被災者が多くいて、隊員は分けてやりたいが、全員分がないので禁じられている。

3.不明者搜索

- ①阪神・淡路大震災との違いは、生存者が極端に少なかったことで隊員モチベーション維持に苦労した。
- ②不明者搜索は、ライフラインの復旧のため道路警戒と同時並行で実施。
- ③財産権や住民の私有地の瓦礫は、個人が負担して処分しなければならないという問題で復旧活動が遅延していた。(国が処理費用を全面的に持つと発

表したのは2ヵ月後)

- ④災害現場で発見した現金や貴重品は、警察に届けてから「所得物の権利放棄」をする
- ⑤自衛隊は様々な訓練をしているが、ご遺体を取り扱う訓練はしていないためメンタル的にまいっていた隊員もいた。
- ⑥撤退の時期は、被災者はもちろんのことで隊員にも納得していただくために「人海戦術」をとり、宮城県を8月1日に撤退し、福島県は放射能汚染の件もあり12月26日に撤退した。

4.終わりに

東日本大震災から1年半以上たち、日本海側に住んでいる私たちは忘れてきている部分があるが、未だに被災者達は涙を流している。復興に向けて、私たちができる事をこれからも続けて行きたいと思う。

委員会報告

◆出席委員会

◎ゲスト

土田信明氏(自衛隊鶴岡出張所 副所長)

東海林仁氏(自衛隊鶴岡出張所 主任広報官)

◎メイクされた方

佐藤孝子・佐藤友行・塚原初男

◎ビジター

清野義勝君第2ブロックガバナー補佐

菅原常彦君第2ブロック次期ガバナー補佐

スマイル 😊

本間喜美子さん ローターアクトのブーマケットへのご協力、ありがとうございました。

加藤 亨君 土田さんスピーチ有り難うございました。大山でも色々お世話になっています。今後ともよろしくお願い致します。加藤さんお世話になりました。体を大事にしてまたお会いしたいです。

丸山隆志君 加藤恒介さん、長い間ご苦労様でした。

藤川享胤君 加藤恒介さん、退会残念ですが、長い間鶴岡ロータリークラブの発展のためにご尽力いただきありがとうございました。感謝してスマイルします。

富樫松夫君 加藤恒介さん大変長い間ご苦労様でした。土田さんスピーチありがとうございました。

樋渡美智子さん 平成25年3月に鹿児島西RCの50周年式典。これには現在、20以上名の参加予定です。11月9～11日は、鹿児島西RCホストクラブとしての地区大会です。加藤さん、いろいろありがとうございました。

佐藤孝子さん 加藤さん、とてもさびしいです。退会されてもお会い出来るのを楽しみにしています。長い間ご苦労様でした。奥様によろしく!上田様スピーチありがとうございました。